

**1. 基本情報**

- (1) 国名：カンボジア王国（以下、「カンボジア」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：カンボジア全土
- (3) 案件名：感染性廃棄物管理改善計画  
(The Project for the Improvement of Infectious Waste Management)
- (4) 計画の要約：本計画は、医療廃棄物処理を担う医療機関において、医療廃棄物用焼却炉及び感染性廃棄物滅菌装置等の更新・導入を行うことにより、医療廃棄物処理及び滅菌・感染制御基盤の強化を通じた医療廃棄物管理の改善を図り、もってカンボジアの保健医療の充実に寄与することを目的とする。

**2. 計画の背景と必要性****(1) 本計画を実施する外交的意義**

カンボジアはメコン地域の中心に位置し、地域の連結性と域内の格差是正の鍵を握る重要な国である。我が国は、同国内戦後の和平・復興・開発への貢献や活発な要人往来、国際場裡での協力等を通じ、同国との関係を強化してきた。近年は、二国間の経済関係も緊密化しており、我が国から同国への民間投資が増大しており、2013年12月には、両国関係が「戦略的パートナーシップ」に格上げされた。カンボジアは、拉致問題を含む北朝鮮問題について一貫して日本の立場を支持しているほか、我が国が提唱する「自由で開かれたインド太平洋」構想について ASEAN 諸国の中で最初に支持を表明するなど、地域・国際場裏の課題に関しても一層緊密に連携・協力していくことで一致している。

本計画は、COVID-19 ワクチン接種に伴い増加した医療廃棄物の処理能力向上に貢献するものであり、カンボジアが直面している問題に対して時宜を得た支援を実施することは、二国間の信頼関係の構築の観点からも、外交的意義が大きい。

**(2) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け**

カンボジアにおける公的保健医療サービスの提供体制は、首都プノンペンを中心に基本的保健医療サービスの提供体制が整いつつあるが、首都と地方の格差は大きい。医療廃棄物管理についても、地方の州病院では焼却炉が設置されているが、老朽化等の理由により完全な状態で稼働していない。また、郡病院においては、焼却炉や滅菌装置等を所有していない場合も多く、医療廃棄物を州病院まで運び込み処理している。かかる状況下、COVID-19 ワクチン接種に伴い、医療廃棄物の量が増えているものの、医療廃棄物管理が徹底されおらず、感染性廃棄物の不適切な投棄等が生じており、病院に勤務するスタッフや近隣住民は二次感染のリスクに晒されている。また、2021年1月に発行された「COVID-19 ワクチンのための全国展開とワクチン接種計画」(National Deployment and Vaccination Plan for COVID-19 Vaccines) においては、COVID-19 ワクチン接種キャンペーンの実施により増大する医療廃棄物に対応するために、各医療機関において適切な廃棄物処理が可能となる環境整備を優先課題の一つとして掲げている。

本計画は、医療廃棄物処理を担う州レベル及び郡レベルの公的医療機関に医療廃棄物用焼却炉及び感染性廃棄物滅菌装置等を更新・新規導入することで、二次感染のリスク低減

等の課題解決を図ろうとするものであり、上記計画の実現において不可欠な優先度の高い事業として位置付けられる。

### 3. 計画概要

\* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

#### (1) 計画概要

##### ① 計画内容

ア) 施設、機材等の内容：【機材】医療廃棄物用焼却炉、感染性廃棄物滅菌装置、滅菌機等

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、入札補助、調達監理、調達機材の運営・維持管理に係る研修等

##### ② 期待される開発効果

医療廃棄物処理を担う州レベル及び郡レベルの公的医療機関に医療廃棄物用焼却炉及び感染性廃棄物滅菌装置等を更新・新規導入することにより、対象地域住民約 16.7 百万人に対し二次感染のリスク低減等への貢献が期待される。

##### ③ 計画実施機関／実施体制：カンボジア王国保健省

④ 他機関との連携・役割分担：現時点で具体的な連携等は想定されていない。なお、昨年、国連開発計画（以下、「UNDP」という。）がプノンペンにおいて医療廃棄物管理に係る支援を実施しているが、UNDP が対象としている医療施設は本事業の対象とはしないため、同事業と本事業の重複は無い。

⑤ 運営／維持管理体制：一般的に州病院及び郡病院において、資機材の運営／維持管理体制は各医療施設に任されている。技術面においては、保健省病院サービス局が、医療機材の適切な維持管理を目的とした研修を各病院に実施しているものの、技術レベルの差が病院間で大きい。財務面では、保健省本省が医療機材の維持管理費を確保しているもののニーズを満たせず、各病院に委ねられているのが現状であることから、対象病院における詳細を協力準備調査にて確認する。

#### (2) その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリ分類：B
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）

### 4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

- カンボジア向け無償資金協力「感染症対策強化計画」（評価年度 2013 年）の事後評価等では、整備された 24 台の焼却炉のうち 1 台がファンを稼働させる太陽光パネル・バッテリーに関して、保健施設スタッフの技術水準及び予算の制約により修理が滞っていたことが確認された。実施機関は焼却炉の状態を確認し、不具合の原因を分析したうえで、修理の手配を行うべきとの提言がなされている。本計画においては、修理を含めた定期的な維持管理に問題が発生しないよう、部品調達や修理が容易な機材の選定を進めるとともに、運用スタッフへの技術的支援を行うことを検討する。

以上

[別添資料] 写真

[別添資料] 写真



20 年前に地方の郡病院に設置された焼却炉



屋外に放置されたセーフティボックス



焼却灰を廃棄するコンクリートホール

出典：JICA カンボジア事務所